

平成 26 年度（2014）年度

事業計画書

自 平成 26（2014）年 4 月 1 日

至 平成 27（2015）年 3 月 31 日

公益財団法人岩手県国際交流協会

平成 26(2014)年度 公益財団法人岩手県国際交流協会事業計画

I 基本方針

当協会は、平成元年の設立以来岩手県の中核的民間組織として、国際交流を推進してきたところであるが、平成 23 年 4 月には公益財団法人に移行し、その公益法人の役割と責務を自覚し、国際交流・国際協力・多文化共生に関わる事業を展開している。また、東日本大震災津波の発生直後から震災被災者支援に取り組むとともに、被災地の国際交流団体の活動を支援している。

震災発生から 3 年が経過したものの、今なお復興の道半ばであることから、引き続き、被災地外国人等の相談に対応するとともに、国際交流団体の活動の支援にも取り組んでいかなければならない。

また、北上山地が国際リニアコライダーの国内候補地に決定したことを受け、外国人支援の充実や国際交流活動の活性化を図り、地域の国際化に取り組んでいかなければならない。

このため、平成 26 年度においては、以下の 4 本柱により、効率的に事業に取り組んでいくこととする。

① 「多文化共生の地域づくり」

外国人相談や外国人の日本語学習など外国人県民への支援を行いながら、日本人県民と外国人県民が理解しあい地域社会の構成員として共に生きる地域社会を築いていく。

② 「交流による地域づくり」

外国人県民との交流を深めるとともに、本県が有する様々な価値や魅力を国内外に発信し、交流人口を増やし、異なる文化との交流を通じて、本県の文化の再認識や地域課題の解決に向けた知恵の創造を図る。

③ 「次代を担う人づくり」

これからの日本や国際社会について、地域課題のみならず地球規模の課題について理解を深め、その解決に向けて活躍できる国際感覚豊かな人材を育成する。

④ 「震災被災地復興の支援」

東日本大震災の被災外国人等の生活全般に関する様々な相談に対応するとともに、被災地の国際交流団体の活動を支援する。

なお、事業の実施に当たっては、岩手県の「いわて県民計画」、「岩手県多文化共生推進プラン」、「岩手県東日本大震災津波復興計画」において当協会に期待されている役割を踏まえながら、県内外の行政機関、市町村国際交流協会、民間国際交流団体等と緊密な連携の下、効果的に進めていくこととする。

II 事業計画

1 多文化共生の地域づくり

(1) 情報提供

① 多言語ホームページによる情報提供

協会ホームページ（モバイルサイト、ブログ、facebook、twitter を含む）により、多言語で、在住外国人への生活情報、国際交流団体の活動情報等を迅速に発信する。また、同様に海外に向けても岩手の情報を発信する。

加えて、国際リニアコライダー（ILC）の関連情報を随時発信したり、在住外国人への生活情報の充実を図る。

言語：英語、中国語、韓国語、日本語

② 多言語の国際交流情報紙の発行

県内外の国際交流・協力・多文化共生のイベント情報や外国人への生活情報、協会からの情報等を掲載した英語及び中国語版、日本語版の国際交流情報紙を発行する。

発行部数：英語・中国語版 2,500 部／回、日本語版 3,500 部／回

発行回数：隔月（予定）

(2) 日本語学習支援

① 日本語サポーターの登録・育成と活用

ア 日本語サポーターの登録・活用

在住外国人の様々な日本語学習ニーズに対応できるよう日本語サポーターの登録を行い、外国人の依頼に適した日本語サポーターの紹介を行う。

登録者目標値：217名

イ 日本語教室開設研修会（県補助）

在住外国人が日本語を学ぶ機会の拡大や充実を図るため、地域で新しく日本語教室を開設できるように、市町村国際交流協会等と協働で、研修会を開催する。

開催場所：滝沢市（予定）

② 日本語教室運営支援助成

日本語教室運営の経費の一部を助成し支援する。

助成額：助成対象経費の4/5 上限80,000円

③ 中級日本語教室開設（（財）自治体国際化協会多文化共生のまちづくり促進事業助成（申請中））**重点**

在住外国人の日本語能力の向上を図ることで自立支援を促進し、地域社会の一員としてより一層地域に貢献できるように、中級レベル以上の学習者を対象とした日本語教室を開設する。

開設場所：国際交流センター、一関市（予定）

開設時期：国際交流センター 6～2月、一関 9～11月（予定）

(3) 外国人県民の生活支援

① 外国人相談の実施 **重点**

ア 相談窓口の設置

在住外国人が安心して生活できるよう、日本語学習・医療・福祉・子育て・家庭内の問題等に関する事など、幅広い相談に対応するため、外国人相談窓口を設置する。

相談窓口設置場所：国際交流センター

相談対応時間：毎日（年末年始（12/29～1/3）・閉館日を除く。）9：00～21：30

対応言語：英語、中国語、スペイン語、韓国語、日本語

目標相談件数：600件

イ **相談専門員の配置**（一部県補助及び県委託）

中国語、韓国語、英語での対応が可能な相談員を配置し、県内在住外国人数が多い中国籍・韓国・朝鮮籍及びフィリピン籍等の在住外国人からの相談に対応する。

外国人相談専門員：3名（中国1、韓国1、フィリピン人対応1）

ウ **外国人定期相談日**

在住外国人が抱える在留資格・諸手続などの問題を解決するため、岩手県行政書士会との連携により定期的な相談日を設ける。

開催日：毎月第3水曜日 15：00～18：00

開催場所：国際交流センター

エ **地域巡回相談（県補助）**

外国人相談専門員が地域の日本語教室等を巡回し、日本語教室等に寄せられる相談への対応や情報提供を行う。

予定訪問件数：15件

オ **震災復興関連の相談対応**

震災に関する相談やそれに付随した相談に対応するため、被災地に被災地外国人相談員を配置して対応する。

配置地域：山田町、大槌町、陸前高田市・大船渡市

② **多言語サポーターの登録・育成と活用**

ア **多言語サポーターの登録・活用**

在住外国人が日常生活に不便なく生活できるよう、通訳や翻訳などのサポートを行う多言語サポーターの登録を行い、活用を図る。

また、各地域からの依頼や希少言語の依頼にも対応できるよう、登録者の拡大を図る。

加えて、外国人同士の相互扶助的な活動も必要であることから、自らの経験を踏まえてアドバイスができる経験の豊富な外国人登録者の拡大を図る。

登録者目標値：223名

イ **多言語サポーター研修会（県補助）**

多言語サポーターの活動に必要な知識や情報の習得、また語学能力などの向上を図るため、研修会を開催する。

開催場所：国際交流センター及び県内1地域

研修回数：各3回（予定）

③ **私費外国人留学生支援**

ア **奨学金支給（県補助）**

私費外国人留学生の経済的負担の軽減を図るため、奨学金を支給するとともに、「いわて留学生大使」に委嘱し、県内で行われる国際交流活動又は県内就職支援への取組みに積極的に参加してもらう。

支給期間：平成26年4月～平成27年3月

支給人数：10人

奨学金額：40,000円／月

イ **県内就職支援**

連携機関：岩手県外国人留学生就職支援協議会（事務局 岩手大学）

2 交流による地域づくり

(1) 情報の収集・提供

① 国際交流・協力・多文化共生に関する図書等・情報や物品の収集提供

ア 国内外の国際交流・協力・多文化共生・留学関係に関する図書や資料・教材を収集し、提供する。

イ 在住外国人の協力を得ながら、各国大使館や政府観光局などを通じて国別、地域別の情報や資料を収集し、提供する。

ウ 国別の物品（国旗、民族衣装、楽器、玩具など）を収集し、貸出を行う。

② メーリングリスト「いわてプラネット」の運営

メーリングリスト「いわてプラネット」i-planet@freeml.comを運営し、県内外で行われる国際交流・協力・多文化共生活動などの情報を提供する。

③ 機関誌「いわて国際交流」の発行

県民の国際交流・国際協力・多文化共生への理解を促進するとともに、在住外国人も含めた県民が一体となって国際交流による地域づくりについて考えることをテーマに、機関誌「いわて国際交流」を発行する。また、岩手の取り組みを広く発信すべく、英語、中国語、韓国語版を発行し、ホームページ等で掲載を行う。

発行部数：4,000部／回（日本語版）

発行回数：2回／年

多言語版（英語、中国語、韓国語版）については年1回ダイジェスト版を発行し、ホームページで掲載を行う。

(2) 国際交流の推進

① 国際交流センターの運営推進（県委託等） **重点**

県から委託を受けて、国際交流等の情報提供、在住外国人に対する生活支援、県民と外国人との交流等の拠点施設である国際交流センターを運営するため、スタッフ及び国際交流補助員等を配置し、センター利用者への助言や支援、情報収集・提供、在住外国人の相談への対応や国際交流や国際理解の事業などを推進する。また、センターの運営や協会事業のサポートなどを目的に、センター運営サポーターの登録・活用を行う。

スタッフ：7名（英語、中国語、ドイツ語対応）

外国人相談専門員：3名（中国語、韓国語、フィリピン人対応）

国際交流等補助員：5名（英語、スペイン語、中国語、韓国語対応）

② 外国人との交流会「ちゃっとランド」の開催

在住外国人をゲストスピーカーに招いて各国の文化紹介や行事のほか、国際協力や観光などもテーマに、在住外国人との交流を深める。

開催場所：国際交流センター及び県内2地域（予定）

開催回数：年8回（予定）

③ 「ワン・ワールド・フェスタ in いわて」の開催 **重点**

国際交流・協力・多文化共生について、広く一般県民に啓発普及を図るとともに、在住外国人と交流することを目的に、在住外国人やボランティア、国際交流関係団体等と連携・協働して、「ワン・ワールド・フェスタ in いわて」を開催する。

開催場所及び時期：国際交流センター他 11月（予定）及び県内2地域

事業内容：外国紹介ブース、国際交流団体等の活動紹介、国際理解ワークショップ等（予定）

④ 「身近な国際協力～世界フェアトレード～」の実施

国際協力機構（JICA）東北支部や県内フェアトレード団体等と連携し、フェアトレード

を通じて国際協力の意識啓発を図る。

開催場所：国際交流センター他

開催時期：5月（予定）

⑤ **外国文化紹介講師派遣（県補助）**

県民の国際理解の促進を図るため、県内で開催される国際理解に関する行事や学校等に、国際交流員、海外技術研修員や「いわて留学生大使」（奨学金受給者）等を講師として派遣する。

目標派遣件数；4町村（未実施町村）

⑥ **ホストファミリーの登録・活用**

ホームステイの受入れにより外国人との交流を深めるため、ホストファミリーを登録し、各市町村協会や関連団体等と連携し、活動の機会を提供する。

⑦ **いわて国際化人材（人材活用ネットワーク）の登録・活用**

岩手の国際化の推進や多様化する多文化共生への対応を目的に、多様な分野の人材を登録し、通訳・翻訳、国際理解講座など各種講座、日本語学習の講師依頼などに登録者を紹介する。

また、希少言語や地域からの依頼多様化する依頼に対応できるよう登録者の拡大を図る。

⑧ **国際交流団体等の活動支援助成**

県内の国際交流団体等が行う県民参加型の国際交流・協力・多文化共生の活動が活発に行われるよう、経費の一部を助成する。

助成額：助成対象経費の1/2 上限100,000円

⑨ **海外とのネットワーク構築**

国際リニアコライダーや観光、産業分野など様々な分野で岩手県を海外に発信し、若い世代の育成など海外との情報交換や交流の促進等を目的に、海外在住の県出身者や岩手にゆかりのある方々の情報を収集し、ネットワークの構築を図る。また、facebook等を活用した情報発信の基盤整備を行う。

対象：JET事業OB、海外県人会、外国人留学生、いわて親善大使、青年海外協力隊、日本人学校教員

(3) 国際理解の推進

① **企画展示**

県民の国際理解を深めることを目的に、様々なテーマでの展示のほか、国際交流団体等による企画展示の機会を提供する。

(4) 国際交流団体等との連携 重点

当協会の窓口担当を一本化し、市町村国際交流協会を含め国際交流団体等との情報交換を緊密に行い、事業を共催して実施するなど各地域の国際化に向け連携を強化する。

① **国際交流関係団体連絡会議の開催**

市町村国際交流協会や国際交流・協力・多文化共生に関わっている団体の活動の活性化や各団体が抱える課題の解決に向け、相互の意見・情報交換等を行う。

開催時期及び場所：11月 国際交流センター、地域（県南、沿岸地域）（予定）

② **国際交流関係団体等との共催事業の実施**

国際交流関係団体等が行う国際交流、国際協力、多文化共生の事業に対し、共催や後援等により支援する。

共催：いわて多文化こどものキャンプ（予定）

(1) 講座・研修

① いわてグローバル・カレッジの開催

グローバルな視点から岩手の国際化・多文化共生について理解を深めるとともに、岩手における今後の国際交流・協力・多文化共生について様々な角度から考える契機とするため、県民を対象としたセミナーを開催する。

開催場所：国際交流センター他

開催回数：3回（予定）

② 海外体験・留学セミナー「いわて青年国際塾」

グローバル化に対応できる次世代の人材を育成するため、県内在住の高校生、大学生など若い世代を対象に、語学やコミュニケーション能力の向上などグローバルな人材に必要なとされる技術の習得、留学やワーキングホリディなどに必要な情報提供などを目的とした研修会を開催する。

(内容)ア 基本講座（講演会形式）＊いわてグローバル・カレッジと併催
グローバル社会への対応について求められる資質について学ぶ。

開催場所：国際交流センター

開催回数：3回（予定）

イ 合宿研修

留学生等外国人や海外で活躍した経験を持つ方々等とのディスカッションを通じて、海外へのチャレンジ意欲やコミュニケーション能力の向上を図る。

開催場所：県内宿泊施設

開催時期：8月（予定）

ウ 留学セミナー

留学など海外体験の意義を考えるとともに、留学などに関する情報を提供する。

開催場所：国際交流センター

開催時期：7月（予定）

③ 国際理解ワークショップ等の開催

広く国際交流や国際協力、多文化共生などに理解を深めるために、学校や各地域の市民講座などで、当協会作成の「国際理解ハンドブック」を活用しながら、地域の外国人との共生、国際リニアコライダー、国際協力など多様なテーマをとりあげたワークショップを開催する。

また、ワークショップに対応できるファシリテーター人材育成の研修を実施する。

ワークショップ開催回数：7回（予定）

④ インターンシップ・プログラム

本協会の活動や国際交流・協力・多文化共生への理解を深め、就職意識の醸成にも資するため、県内在住の大学生、高校生などを対象とするインターンシップ・プログラムを実施する。

⑤ 地域国際化リーダー研修会の開催（県補助）

地域での国際交流や在住外国人との多文化共生の推進に向けて、国際交流関係団体（市町村国際交流協会含む。）の職員等を対象に、国際交流事業に携わるにあたり必要な知識や情報の習得を目的に研修会を開催する。

開催場所：国際交流センター及び地域

開催時期：11月（予定）

(2) 海外研修員等の受入れ

① 海外研修員等のサポート（県委託）

県が海外から受け入れる海外自治体職員研修員及び海外技術研修員の研修等が円滑に行われるよう、研修機関との連絡調整を行う。また、岩手において充実した生活を送り、本県の良き理解者・支援者となるようサポートする。

海外自治体職員研修員： 国／中国

海外技術研修員： 国／パラグアイ 職種／会計関係（予定）

4 震災被災地復興の支援

(1) 外国人相談の実施 **【再掲】重点**

震災に関する相談、またそれに付随した相談に対応するため、相談窓口を設置するとともに、被災地に被災地外国人相談員を配置し、また外国人相談員（中国語・韓国語・フィリピン人対応）を派遣し対応する。

配置地域： 山田町、大槌町、陸前高田市・大船渡市

(2) 震災地域団体支援

被災地で、地域の国際交流活動が円滑に実施、再開できるよう、被災地の国際交流協会や団体のニーズに即した支援を行う。

(3) アイーナ復興バザーの開催

アイーナ入居施設が連携して取り組むアイーナ復興バザーに参加し、被災地復興支援に向けた復興バザーを開催する。

開催日時：6月及び10月